



自治労HP



ご意見フォーム



じちろ

自治労中央機関紙

発行所

全日本自治団体労働組合
東京都千代田区六番町1
TEL 03-3263-0273
FAX 03-5210-7422
定価一部30円
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

秋季・確定闘争

交渉ゾーン 11月第3週 全国統一行動日 11月15日(金)

組合員の声を交渉の場へ 全単組が確定闘争に結集を



伊藤功書記長

人事院は8月8日、本年の月例給の官民較差に基づき、月例給11,183円(2.76%)、一時金を0.10月引き上げる勧告を行った。人勧ではこのように示されたが、各自治体の賃金・労働条件は、単組ごとの交渉・協議によって決まる。各都道府県・政令市等の人事委員会対策も必要だ。今年を取り組みポイントをしっかり押さえよう。自治労本部の伊藤功書記長が解説する。

賃金は人勧ではなく、単組の労使交渉で決まる

「5つの重点課題」を設けています(下囲み参照)。

今年の人事院勧告では32年ぶりに月例給の引き上げが2%を超えました。これを踏まえ、給与の引き上げ改定を求めます。

初任給をはじめ、中高年層を含めたすべての世代の賃金引き上げ、一時金については、支給月数の引き上げと期末手当に重点を置いた配分を求めます。

運用改善の具体的な目標としては、中堅層の改善のため、すべての自治体単組で38歳4級到達を掲げている

ます。達成済みの単組は、45歳5級到達を目標に取り組みましょう。職員の給与実態を十分に把握・分析し、具体的な運用改善にむ

け、労使交渉を進めることが何よりも重要です。自治労運動の基本である「自らの賃金・労働条件は、労使交渉によって決定する」という原則のもと、全単組で賃金・労働条件の改善にむけて交渉・協議に取り組みしましょう。

「給与制度の整備」は「給与と制度の整備」への対応にあたり、地域の実情

「社会と公務の変化に対応した給与制度の整備」への対応にあたり、地域の実情

地域手当支給に係る特交の減額措置が廃止に

松本剛明総務大臣(写真)は9月10日の記者会見で、地域手当に係る特別交付税減額措置の廃止を表明した。



特別交付税の減額措置は、これまで自治体による独自の地域手当支給割合を阻害する要因となっていた。

に即した諸手当の改善を実現しましょう。

地域手当は、都道府県単位に「大きくり化」されま

す。自治体によっては、支給割合が下がる場合がありますが、引き下げを行わないよう求めます。総務省は特別交付税の減額措置をやめるとしており、これは、この間の署名運動の成果と言えます(上左囲み参照)。

扶養手当は、抽速な見直しを行わないこと、少なくとも組合員の賃金水準を引き上げないことを要求します。

また、通勤手当の支給限度額を15万円に引き上げること、特に燃料費の高騰を踏まえ、自動車等による通勤手当の引き上げを勝ち取りましょう。

会計年度任用職員と中途採用者の処遇改善も中途採用者の賃金改善も

重要な課題です。同学年の新卒採用者の給与を基本に、初任給、昇格の改善に取り組みます。

会計年度任用職員の一時金について、常勤職員との均等・均衡に基づき処遇改善を求めます。また、遡及改定がされていない自治体では、今確定闘争での実現を図ります。

「1単組・1要求掲げ統一闘争を進めよう

交渉日程や獲得目標をそろえ、全単組一斉に行動するのが「統一闘争」です。

労使関係は自治体単組ごとに別々でも、同時決着を意図し、県内の全単組が一体となって粘り強く交渉し

ます。本部は、地方の自主性が守られるよう、引き続き総務省対策を強化します。要求は、組合員の声を集めたものでなければなりません。課題を明らかにする

5つの重点課題

- ① 給与の引き上げ改定を行う
- ② 「社会と公務の変化に応じた給与制度の整備」への対応にあたって、賃金水準の維持・改善の観点から独自の措置を講じる
- ③ すべての自治体単組で38歳4級到達をめざして在級期間を短縮する
- ④ 中途採用者の賃金改善を行う
- ⑤ 会計年度任用職員の期末・勤勉手当について、常勤同様の支給月数とする。また、給与改定にあたっては常勤職員と同様に遡及改定を行う

ため、まずは単組執行部が組合員の声を集め、実態を把握しましょう。「1単組・1要求」を合言葉に、初任給基準の引き上げや昇給・単組ごとに課題を設定し、統一闘争に結集しましょう。

「脱原発」「止めよう温暖化」をボードアピール



原発は温暖化対策にならない 命をつなぐ地球環境を訴え集会

「9・16さようなら原発全国集会」が9月16日、東京・代々木公園で開かれ、約5000人が集まった。自治労の参加者は、関東甲を中心に500人。

今年「命をつなぐ地球環境を」を合言葉に、気候危機問題に取り組む市民運動と脱原発運動とが共同で、「原発は地球温暖化対策にはならない」ことを強く訴えた。

集会では、原発再稼働反対、福島被曝訴訟、核廃棄物中間貯蔵施設に反対する市民団体、気候変動問題に取り組む環境団体などが発言した。集会後、2つのコースに分かれて都心をデモ行進した。

幸せは、ひとりじゃつくりれない。

じちろマイカー共済 自動車共済組合共済

自治労組合員 だからこの掛金! (同居親族にも適用)

やってみよう! 掛金試算

掛金がカンタンに試算できちゃう?!

今すぐ試算してみよう!

車検証(電子化されている場合は自動車検査証記録事項と、現在の保険証券・共済証書(他の自動車保険・共済に加入している場合)をご用意ください。)

CHECK!!

掛金試算の手順

自治労共済推進本部

https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/jichiro/

ID: tasukeai パスワード: jichiro

じちろマイカー共済のページ 画面下部にある「新規の方」の「掛金試算」をクリック

掛金試算

※不明点があれば所属組合までご連絡を

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

スマホ写真部門

入選 「車中に咲く笑顔」

石川・公立能登総合病院職労
松原 加奈子さん

はじまる



選評 子どもとおばあちゃんの写真です。子どもは松原さんのお子さんで、おばあちゃんは祖母だそうです。お子さんが初めて花見に行った時の一枚ということ。お子さんも祖母もこの日は一日楽しそうだったということです。写真はそんな二人が車中で満面の笑顔で互いに顔を向け合う楽しそうな一瞬をとらえています。単純な構図ですが左右のバランス、二人の顔の向きとその表情が絶妙です。この日一日の楽しさを象徴するような一枚になりました。

本格的カメラ写真部門

自治労 第31回 写真コンクール

「声」と「はじまる」をテーマに募集し、本格的カメラ写真部門に43点、スマホ写真部門には76点の個性豊かな作品が寄せられた。写真家の鈴木邦弘さんの審査の結果、8作品が受賞した。

声



選評 今年の博多祇園山笠のワンシーンをとらえた作品です。土砂降りの中、男たちが追いつく山笠を担ぎ出すこと。そして、清道(神社の境内)に山笠を昇き入れる。参加者である坂田さんは締め込みをして、ずぶ濡れになりながら清道入りする山笠を真正面からとらえました。その写真からは、薄暗い中、激しい雨に打たれながら山笠を昇く男たちの声と熱量が伝わってきます。参加者しか撮影できないアングルと距離の迫力ある作品になっています。

特選

「オイサー！」

福岡・自治労大牟田市職労
坂田 修さん

選評 指輪を使用した指人形の写真です。写真を見ればわかるように婚姻届けを出す前に撮影したということです。「これから始まる二人の人生を表すように、ニコニコの二人です」とエピソード欄に書かれていました。この作品も結婚という大切な出来事をスマホを使って楽しく写真で表現しています。写真はいろいろなことを記録しますが、ストレートに事実を撮るだけでなく、このように少しのアイデアで楽しい表現ができます。あまり大げさに考えすぎず、いろいろなアイデアを写真にしてみましょう。



福井・自治労福井市職労
大橋 恵理子さん

努力賞
「ニコニコ」



佳作
「第二の人生の始まり」
東京・西東京市職労
吉賀 幸一さん

選評 セミの羽化の様子を撮影した作品です。連日の熱帯夜のある日、アブラゼミの幼虫が網戸にとまっているのに気づき、家族みんなで一晩中気にかけていたそうです。背中が割れセミが出てきて、足がかたまるのを待ちながら羽が大きくなってきているところを撮影した写真です。自宅の網戸という身近なところで撮影されたことが、スマホ部門にぴったりです。欲を言うところ、時間を空けながら連続写真の組み写真にすると更に興味深い作品になったでしょう。



努力賞
「出勤の朝」
福岡・自治労築上町職労
吉元 良太さん

選評 三人が楽しそうに話しながら出勤している様子をとらえた作品です。日々繰り返している何気ない日常の一枚、このような中に特別なものは異なる楽しさがあります。私たちの日常は、このような日々の積み重ねでできています。スマホで撮る気軽さがよく表れている作品です。エピソード欄に『「今日も仕事頑張るぞ！」朝日に照らされて、今日という一日がはじまる』と書かれています。まさに、スマホだからとえられるささやかな幸福感がよく出ている作品です。

佳作
「心の会話」
青森・黒石市職労
葛西 将大さん



選評 墓参りに行った際の祖父の様子を撮影した作品です。祖父は亡き妻と心で会話しているうちに昔の思い出がよみがえったのか、涙があふれ出てしまったそうです。この作品は、そんな祖父の背中を写すことによって、感情の深さを、そしてモノクロにしたことによって、感情のひだのようなものを上手く表現しています。写真はこのような撮影できない対象を表現できます。これが写真の面白さのひとつです。去り際に、祖父は「また会いに来るからな」と笑顔で声をかけていたそうです。

入選

「身だしなみ」

山梨・中央市職
木谷 昌経さん



選評 地元の太々神楽を見学に行ったときの何気ないシーンを撮影した一枚です。舞台袖から、カーテン越しに出番待ちの演者が鏡を見ながら身支度をする様子が見えたそうです。その様子が、まるで本物のおじいさんが鏡を見ながらぶつぶつ何かをつぶやいているように見えたとのこと。中心の舞台とは異なり、見過ごしてしまうような小さな出来事です。作者はそこを見逃さず、自分の感じとったことに忠実にシャッターを押して、独特の空気感をとらえました。



佳作
「呼んだ？」
東京・町田市職労
守屋 涼さん

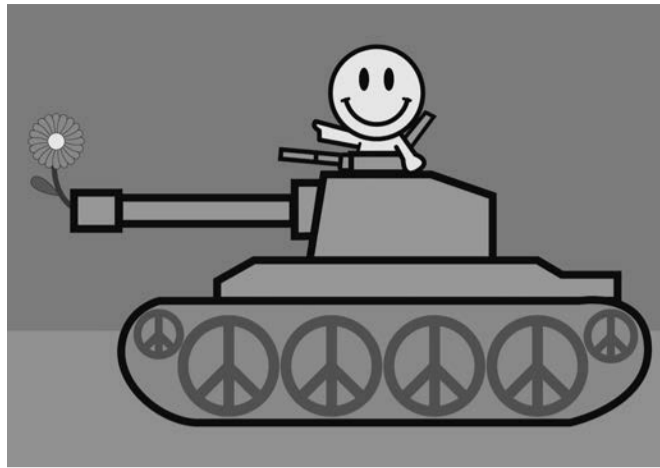
選評 北海道に生息するシマエナガを撮影した作品です。この「雪の妖精」は撮影することが難しいです。まず、出会うことがなかなか難しいのですが、真冬だと山に近い札幌の公園でも出会える確率は高くなるそうです。また、常にせわしく動き回っています。この作品のように、つぶやかない瞳でこちらを見ているようなカットはなかなか撮れません。撮影者は呼びかけを続け、こちらを見た瞬間を逃さずものにした。声を出したのが野鳥ではなく撮影者の方でした。

自分の欲するイメージを想像して 審査員 鈴木 邦弘さん (写真家)



雑誌を中心にフリーの写真家として活動。自治労通信「おぼく世界」などにドキュメンタリー写真を発表。93年「森の人・PYGMY」で第18回伊奈信男賞を受賞。日本写真芸術専門学校主任講師。日本写真家協会(JPS)会員。

講評 今回も例年同様選考には悩みました。テーマと写真との兼ね合いや写真としての出来不出来、テーマのとらえ方など様々なことを考慮しながら審査を進めました。まず、本格的カメラ写真部門全体の印象を書きます。テーマのためか、例年に比べ撮影対象の幅がありました。また、実際に聞こえる声を意識した作品や心で聞こえるような声を意識した作品など、意識する声も様々でした。テーマと写真とのバランスがなかなか難しいところです。カメラで撮影する人たちは、イメージの出来上がりにもっとこだわってよいと思います。今回の作品の多くは、写真として印象の強いものが少なかったように感じました。せっかくカメラで撮影しているのですから、自分の好きな対象を自分の欲しいイメージに少しでも近づけるように何回も撮影してください。そして、撮影対象を観察しながら自分の欲するイメージを想像してください。目の前にある被写体を通して自分のイメージを作っていくのです。そうすることで、あなたの欲しいイメージを理解できるようにしましょう。次にスマホ写真部門の全体の印象を書きます。スマホの最大の特徴は何でもっとこだわってよいと思います。今回の作品の多くは、写真として印象の強いものが少なかったように感じました。せっかくカメラで撮影しているのですから、自分の好きな対象を自分の欲しいイメージに少しでも近づけるように何回も撮影してください。そして、撮影対象を観察しながら自分の欲するイメージを想像してください。目の前にある被写体を通して自分のイメージを作っていくのです。そうすることで、あなたの欲しいイメージを理解できるようにしましょう。次にスマホ写真部門の全体の印象を書きます。スマホの最大の特徴は何でもっとこだわってよいと思います。



反戦車

鹿児島・県本部書記労OB
高橋誠さん



ピッタリとめないと…

兵庫・加西市職 iNakiさん

アイデア笑



藤井聡太、
史上初八冠！

藤井聡太、史上初八冠！

愛知・直属支部 【既発表作品】
ヨッシー・イリエさん

2024まんが大笑

テーマ「車」

今年は『大笑』作品なし

2024まんが大笑のテーマは「車」。機関紙等への既発表作品も含めて、全国から72点の応募があった。審査は9月20日に漫画家の佐々木ケンさんが行い、「大笑」は今年はその作品なし。ヨッシー・イリエさん(愛知)ら「常連」受賞者が名を連ねる中、若干名の新人も賞の一角に食い込んだ。

うまいで笑



熱チュー症注意! ネズミもエコカー移動チュー

福岡・宗像市職労 ハヤトアオキさん

もう少笑



日本列島火の車

兵庫・豊岡市職労OB
玄さん



火の車

石川・県職労OB
亀小路豚麻呂さん

戦々恐々

東京・立川市職労
ちんやんさん



やっぱりこれからの時代は…



…だから「自動運転」や
ちゅーねん!

自動運転

大阪市職
長島 潮さん



100年前のパリジェンヌ

岩手・花巻市職労OB
阿部正介さん

報道笑

*作品名とお名前のみ
クルマがある生活
北海道・全道庁 いっくんさん
Please stop the war!
どうか戦争をとめてください
東京・西東京市職労 よっしーさん
団結ガンバロー
兵庫・直属支部 荒西正和さん

すべての受賞作品は自治労
ホームページ
でご覧になれ
ます。



【写真】 【まんが】

【お知らせ】

文芸コンクールの 審査日程について

第30回自治労文芸賞の作品審査は11月中の終了を予定していましたが、諸般の事情により12月以降となる見通しです。しばらくお待ちくださいますよう、お願い申し上げます。

パンチ効いた作品を次回こそ

審査員 佐々木ケンさん (漫画家)

講評

今回は、これは、と思うパンチ力のある作品がなく、残念ながら「大笑」はなしとします。皆さん次回に向けて励みましょう。

今回のテーマは「車」で、ほとんどはテーマに沿った絵の応募作でしたが、既発表作品を25点も応募されたイリエさんの作品の内、将棋の藤井八冠を扱った絵が面白く、八冠の字を顔の部品に使ったアイデアが良いのでアイデア笑とします。アイデア笑には他に高橋さんとiNakiさん。高橋さんは戦車の転輪にピースマークを使うアイデアなどは良いのですがやはりパンチ力

が不足。iNakiさんは斎藤兵庫県知事のパワハラを扱ったものと思いますが、似顔絵がパツと斎藤知事だとは分かりづらい。

うまいで笑はアオキさん、阿部さん、長島さんの3氏。それぞれ絵がうまいのですが、アオキさんはサーフィンのさわやかさが表に出て熱中症という暑苦しさがないのが残念。阿部さんはカラーの絵がきれい。長島さんは絵が小さいですが個々の絵は漫画的で上手です。

玄さん、亀小路さん、ちんやんさんはもう少笑。

玄さんと亀小路さんは車ときたら誰でも思いつく「火の車」が作者によって表現が異なる例として笑にしました。ちんやんさんの作品はビッグモーターの損害保険不正のことと思いますがちょっとそれと分かりにくい。

労働組合らしい絵の荒西さん、少しゴチャゴチャした感じだが何か笑をあげたいいっくんさんとよっしーさんの3氏には報道笑を。

以上のように各笑を決定しましたが、大笑がないのはいかにも寂しいので、次回は皆がアツと驚くような発想の漫画を期待します。



1948年鳥取県生まれ。68年に東京大学に入学し、東大マンガクラブ発足時のメンバーとなる。一般企業に数年間勤務した後、独立して学習塾を経営しながら1コマ、4コマなどのまんがを各誌に発表。自治労機関紙上でもかつて、1コマまんがを連載した。